

第27回揖保川流域委員会資料

平成21年8月出水における  
引原ダムの効果について

平成22年2月26日

兵 庫 県

■平成21年8月出水における引原ダムの効果について

平成21年8月9日～10日 台風9号における引原ダム洪水調節効果

●概要

1. 降雨の状況

兵庫県宍粟市の引原ダム(揖保川水系引原川)流域では台風9号の影響により、8月9日から10日にかけて総雨量257mm、時間最大雨量43mmの大雨となった。

2. 引原ダムの洪水調節

ダムへの流入量は8月10日0時40分に207.78m<sup>3</sup>/秒に達したが、放流量を5.44m<sup>3</sup>/秒に留め、流入量の97.4%に相当する202.34m<sup>3</sup>/秒をダムに貯留(洪水調節)した。この後も放流量を最大約100m<sup>3</sup>/秒に抑え、全体で約221.5万m<sup>3</sup>を貯水した。

8月10日4時0分に最高水位473.20mを記録し、このときの貯水率は97.4%であった。

3. 洪水調節による下流河川への効果

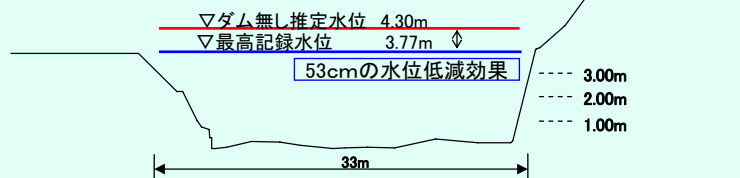
今回の洪水調節により、引原ダム下流約11km地点の上野水位局(宍粟市波賀町)において引原川の水位を約53cm低下させる効果を発揮し、洪水被害の抑止を図った。

■引原ダムの諸元

流域面積 : 57.5km<sup>2</sup>  
 計画高水流量 : 470m<sup>3</sup>/秒  
 洪水量 : 100m<sup>3</sup>/秒  
 有効貯水容量 : 1,840万m<sup>3</sup>  
 洪水調節容量 : 565万m<sup>3</sup>  
 洪水調節方式 : 100m<sup>3</sup>/秒 バケツカット方式



台風9号における引原ダム洪水調節効果  
 (上野水位局における水位低減効果)



引原ダムの洪水調節状況(8月9日～10日)

